

地に生きる、地を生かす

第72号



巻頭インタビュー

遠藤ケイ

作家、イラストレーター

連載

養老孟司

北川正恭

島蘭進

小峰隆夫

森まゆみ

二宮清純

岩村暢子 ほか

地域人

CHIKUJIN

特集

野良着ファッション

伝統を生かす現代の仕事着・日常着

寄稿

伊藤洋志

ナリワイ、SAGYOディレクター

PART 1

伝統の布で つくる

YAMMA (ヤンマ産業)

山崎ナナ

HARAPPA (はらっぱ)

原山修一 / 井上真理江

うなぎの寝床

白水高広

石徹白洋品店

平野馨生里

野川染織工業

野川雅敏 / 野川雄気

PART 2

仕事着の周辺

MARUGO (丸五)

波止 英

エニシング

西村和弘

MOMOTARO JEANS

(ジャパンブルー)

真鍋寿男

PART 3

新しい作業着・ 日常着の世界

MONKUWA (大志)

渡邊比呂志

ワークマンプラス

(ワークマン)

鈴木悠耶





新しい作業着・日常着の世界

野良着の機能を生かして、さらに楽しく、さらに手軽に

PART 3

トイレのときに着脱しやすいようノースリーブにするなど女性たちの声を聞きながら実用性を高めた。

北の大地が生んだ作業着は 着心地良好、働きやすさ最高

「MONKUWA」はカラフルな色とデザインが特徴の女性のための農作業服ブランドだ。運営する株式会社大志は北海道旭川市で「農業を応援する」をコンセプトに農業関係のノベルティなどを手掛ける企業である。モンクワというブランド名は昔から農作業に使われてきた「モンペ」と「鋏」を組み合わせたものだ。

代表取締役の渡邊比呂志さんは繊維メーカー、作業服の販売会社に勤務後、大阪の作業服メーカーの出資を受け2005年（平成17）に「大志」を立ち上げた。渡邊さんはこのブランドについて次のように語る。

「モンクワの良さはデザイン性と機能性の高さ、耐久性も兼ね備えつつ、作業服なので価格も抑えているところなんです。今、農作業服を作るアウトドア・ブランドもメーカーもありますが、

「だけど最後に出品した展示会では小売業者から大きな反響があったんです。だから5年前に量産体制をサポートするからと、他社から誘いを受けたときは、絶対にいける！という確信がありました」

しかし大事にブランドを育てていきたい大志と、売れるアイテムだけを大量に売りたい企業との考え方の違いから、現在は大志が単独でブランド運営を行っている。

商品開発では、以前の反省を踏まえ、試作品ができるまで、J A全農（全国農業協同組合連合会）の婦人部で意見を聞いている。「みなさん、手厳しいですよ」と渡邊さんは苦笑する。「袖口の閉まり具合や通気性など、あれはだめ、ここはだめと随分、言われました。そこから改良に改良を重ねて、完成まで2年くらいかかりました」



代表取締役の渡邊さん。日本の農業シーンをより楽しいものにするべく、日々奮闘している。

農協の女性による 手厳しいダメ出しを乗り越えて

現場の意見を細かく反映させることができるのは、農業に従事する女性たちとの距離が近い北海道だからこそだと渡邊さんは言う。

「大阪の出資元から事業所を大阪に移さないかと言われたこともありましたが、日本最大の農業県、農業の最先端である北海道を離れるつもりはありません。ここにはたくさんさんの情報がある。北海道にあることが大志の最大の強みです」

販路は現在、ECサイトが中心で、実店舗での販売はまだ少ない。目下の課題は販路拡大のためにも認知度を上げることだ。その試みの一つとして、2021年の春から始めたハローキティとのコラボは注目を集めた。

大志 / MONKUWA

農作業に「私らしさ」を 心弾む女性の仕事着

渡邊比呂志

株式会社大志代表取締役

農作業や畑仕事をする際にも、自分らしくおしゃべりに、カジュアルに、仕事着を楽しみたい。そんな気持ちに応えてくれる女性用作業服のブランド「MONKUWA」が農業王国北海道から登場。デザイン性だけでなく安全性、快適性にこだわったブランド誕生の背景とは。

取材：文 ● 野村麻里 撮影：風日舎（人物） 写真提供 ● 大志

旭川市
北海道

デザイン重視で価格が高すぎたり、機能性に欠けたりする。一方、量販店の女性用作業服は安いかいけれど質もよくない。特に今までの農業女子の服は安易な花柄など、デザイン性が乏しかった。実は大志では2016年にモンクワを立ち上げる以前にも女性の作業服に取り組んだことがあった。

「11、12年前でしようか。北海道ローカルで放送していた『タカトシ牧場』という、タカアンドトシが農業を応援

する番組にオリジナルのつなぎ服を提供したのがきっかけで、番組内で作業服のファッションショーをやったんです」

このときに知り合った札幌の北海道文化服装専門学校と協力し、学生のデザインによる作業服を製造、販売したが当時はデザイン優先で機能性や安全性は二の次だったこと、また価格が高くなるなどさまざまな問題があり、3年で製造を止めてしまっ

モンクワでは、インスタグラムにはモデルを使わず、農家の女性たちに写真を見せてもらうなど、現実的な目線を大切にしている。また現在、新潟で就農しながら女子サッカーでプレーする農業実業団チーム「FC越後妻有」とのスポンサーシップを交渉中だ。

「広告に芸能人を使うより、全国の農業を盛り上げようとする活動をもっと支援したい。それで地元の媒体に取り上げてもらうなどして、モンクワの認

知度も高めていけたらと思っています。大志が目指すのは、農業シーンがもっと楽しいものになり、若い人たちが職業を選択するとき、農業、と胸を張って言えるような環境をつくることなんです」

渡邊さんの熱い思いこそが、大志の原動力なのだ。ファッションから農業の未来は明るくなる、モンクワはそんな可能性を感じさせてくれる期待のブランドだ。

MKS20101
1 デニムサロペット 4,620円

サイズ ● M、L、LL、3L
カラー ● サックス、インディゴの2色（写真はサックス）
酪農家のためのつなぎは軽量かつ餌がつきにくい素材を採用した。



MKS20001
3 ロゴパーカー 3,190円

サイズ ● M、L、LL、3L
カラー ● ホワイト、ネイビーの2色（写真はホワイト）
モンペに使われる井桁の柄とハッシュタグを組み合わせたデザイン。



MKS20203
2 Wガーゼワークハット 2,640円

サイズ ● フリー
カラー ● フラワーグレー、フラワーネイビー、イエロー、ピーチの4色（写真はピーチ）
保冷剤を入れる内ポケット付き。日よけ布が取り外しできる。



株式会社大志

住所 ● 北海道旭川市
旭神町19番地26
URL ● <https://monkuwa.com/>

オンラインショップ

